

## 始めの五歩

天王小・4 山口 愛結

どんなときでも音楽が流れると、ノリにのってしまいます。リズムに合わせて体が勝手に動き出します。それくらい、わたしはダンスが大好きです。わたしのゆめは、プロダンサーになることです。

わたしは、五才からダンスを習っています。ダンスを始めたきっかけは、テレビに出ているダンスの上手な女の子を見て、ダンスがうまくてすごいと感じたからです。

週に一回、初級クラスで練習をしています。そこでは、ヒップホップを中心にやっています。クラスのみんなで練習したダンスを、イベントでひろうすることもあります。ふるさと公園の春祭りや病院の夏祭り、地元のイベントなど、いろいろな場所でダンスをひろうしてきました。中でも一番大きなイベントは、スタジオ全体で行う大発表会です。ホールのステージの上で、クラスごとで発表していきます。ステージの上で衣しようを着ておどるのはとても楽しいです。きらきらとライトが当たり、ホールなので音楽もいつも以上にずんずんとひびいて、最高の気分です。たくさん練習したのでふり付けをまちがえることもなく、練習の成果が出るとうれしくなります。人前に立つのが好きだなと感じます。

いつものレッスン以外でも、ワークショップに参加しています。ワークショップとは、レッスン以外の時間に、有名なプロダンサーさんがダンスを教えてくれるものです。わたしより年上の人たちが

たくさん参加しているので、いつも少しきんちょうします。なぜなら、年上の人たちは、みんなすぐダンスがうまいからです。同じようにはできないけれど、わたしも追いつくように一生けん命がんばっています。ワークショップがあるときはいつでも参加するようにして、プロダンサーさんや年上の人たちを見て、どんなところを工夫しているのか、どんな体の使い方しているのかをたくさん学びたいと思っています。

また、わたしは園児クラスのアシスタントもしています。自分のクラスではなく、園児のクラスに入って、レッスンを受けに来ている子のお手本として前でおどっています。先生からアシスタントとして選ばれたときはうれしかったけれど、お手本なのでぜったいにまちがえられないプレッシャーもあります。だから、毎回気を引きしめて集中しています。また、習いに来ている子たちがレッスンを楽しいと思ってもらえるように、自分も楽しく元気にやるようにしています。

ダンスをしていて楽しいことだけではなく、つらいことやくじけそうになることも、もちろんあります。大ぜいでやったときにはできたことが、少ない人数になるとうまくできないこともあって、くやしくて悲しい気持ちになることもあります。

できなかったところは、次のレッスンまでに家でたくさん練習をするようにしています。できなかったところを重点的に練習をして、できるようにになったら他のところも全部合わせて、表げんを工夫してできるようにします。そうすることで、自信がきます。

ダンスで学んだ大事なことは、つらくても続けることでぜったい成功すること、だから途中でやめないこと、できるまでくり返し練

習すること、いつも笑顔でいることです。ダンスは、ただわざをやればいいだけではなくて、表げん力をつけて自分なりのアレンジをする自分らしくなると思います。

パリオリンピックのブレイン女子で、日本が金メダルを取りました。すごく感動して、自分もトップに立ちたいと思いました。

ゆめをあきらめないで、これからも一生けん命がんばりたいです。自分もテレビに出て、こんなダンサーになりたいと思ってもらえるような人になりたいです。そして見ている人を楽しませるダンスをして、たくさんの人を笑顔にしたいです。

今のわたしは、まだ始めの五歩くらいしか来ていません。これからもっとたくさん練習して、いろいろな大会に出てゴールを目指したいと思います。

さあ、一歩、一歩！